

平成30年度（第1回）二宮町文化財保護委員会会議 会議録

日 時 平成30年6月13日（木） 10:00～11:30

場 所 ラディアソール ミーティングルーム1

出席者 （文化財保護委員） 橘川卓司委員長、杉山幾一副委員長、島崎直人委員、
鈴木一男委員、露木泰彦委員

（事務局） 府川教育長、志賀教育部長、
小島生涯学習課長、須賀副主幹
中山文化財保護事務嘱託員

傍聴者 なし

資 料 (1) 平成30年度文化財保護関係事業及び予算について
(2) 二宮町指定重要文化財・指定史跡名勝天然記念物について

1、開会

2、委嘱状の交付

3、教育長挨拶

4、自己紹介

5、委員長及び副委員長の選出について

委員長に橘川卓司氏、副委員長に杉山幾一氏を選出。

4、議題

(1) 平成30年度文化財保護関係事業及び予算について

※事務局より資料に基づいて説明。

(委 員) 二宮高校相模人形芝居に補助金を出しているということですが、これは学校のクラブとして活動しているのですか。あるいは町の郷土芸能としての位置づけで活動しているのですか。

(事務局) それは高校のクラブとしての活動で、小田原の下中座とともに活動をしていると聞いています。町の民俗芸能のつどいでは招待芸能として毎年発表していただいています。

(委 員) クラブ活動だと卒業と同時に終わってしまうのではないかと危惧しています。これは予算とは直接関係ないのですが、町として部員が継続、成長していけるような手だてはとっているのでしょうか。

(事務局) 町としては二宮の郷土芸能として二宮高校で相模人形芝居を行っているというよりは、学校のクラブ活動の一環として下中座と一体になって行っているという認識です。卒業生はそちらにつながっていくのではないかと思うのですが、詳しくはわからないので高校に問い合わせてみたいと思います。

(委員) 最近の話ですが下中座の座員は 30 名ほどで、二宮高校のOBが加わっているそうです。

(委員) そういう連携ができていけるのなら安心しました。

(2) 二宮町指定重要文化財・指定史跡名勝天然記念物について

※事務局より資料に基づいて説明。

(委員) 川勾神社の木造隨身倚像は磨耗が進んでいるということですが、何か手を打たないとそのまま傷みが激しくなってしまうと考えられます。修復にはお金がかかることですから簡単にはできないと思いますが、その必要性は認識しておくべきではないでしょうか。

(委員) 古文書など個人蔵のものは代替わりの時などに処分されてしまう恐れがあります。そのようなことがないように日頃から連絡を取るなどして状況を把握しておくことが大切だと思うのですが、いかがですか。

(事務局) 指定重要文化財の古文書については年 1 回所有者からお預かりして燻煙をしますので、その時に状況を把握しています。また他の指定重要文化財も補助金の書類をお持ちして所有者の方とお会いしたり、台風などがあつた後は見回りをするなどして状況確認を行っています。

(3) その他

(委員) 庁舎建設予定の場所は天神谷戸という遺跡です。建設にあたっては埋蔵文化財の調査が必要になってきますので、工事日程と文化財の調査日程を関係部署内でよく打合せをしていただきたいと思います。また東大果樹園跡地にも横穴墓がいくつもあり、包蔵地に指定されていますので、そこでの建設予定などはあるのかお尋ねします。

(事務局) 庁舎予定地についてはすでにラディアン建設時及び法務局建設時に発掘が行われており、状況がわかっているので試掘はせず、発掘調査には 1 年ほどかかるのではないかと想定しています。また東大果樹園跡地については、今のところ土地を改変したり建物を建てたりという計画はありません。

(委員) 東大果樹園の跡地は諏訪脇横穴墓群として知られていますが、町には他にもいくつかの横穴墓があります。それらはかつて調査がなされていますが、現在は草木が生い茂り、近づけないようなところがほとんどのため、現状確認ができません。地図にはありますが現実にはもう存在しないものもあると考えられます。そこで大学の実習として学生さんなどに手伝ってもらい、数や位置を確認し台帳に記入するというようにすれば予算もあまりかからず、文化財保護にもつながるのではないかと思います。

(委員) 体育館の建設時にたまたま土器が見つかり発掘につながったということもありましたから未発見のものもあるかもしれませんし、台帳の整理はしておくべきでしょう。

(事務局) 今後の検討課題といたします。

5、閉会